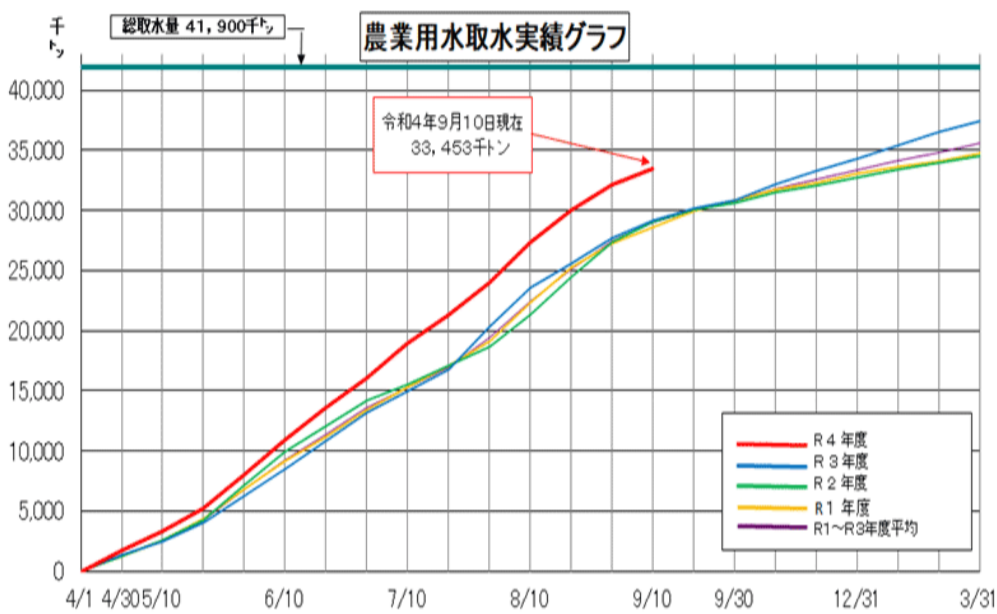




**岩屋ダム利水貯水量 6,190万トン (貯水率100%)**  
**農業用水取水量 3,345万トン (取水率 79.8%)** (ともに9月10日現在)

残暑もようやく和らぎ、朝夕は過ごしやすくなり、夜にもなると心地よい虫の鳴き声が聞こえてきます。8月下旬から9月上旬にかけては、台風11号の活発な雨雲により荒れた天候が続き、晴れてきたと思ったら突然の土砂降りとなり、農作業にも影響したように思われます。また、例年この時期は早植えの稲刈りが始まりますが、長雨の影響で刈取りには大変ご苦労されたのではないのでしょうか。さて、水源地である岩屋ダムの利水貯水量は、9月10日現在 6,190万トンと満水状態にあり、今年度においては濁水の心配もなく安定的に水を供給することができました。

農業用水取水量は9月10日現在、3,345万トン(取水率 79.8%)で、過去3ケ年の平均取水量より 447万トン程増加しています。これは4月から6月における雨量が減少したことで取水量が増えたものと考えています。これまで受益者の皆様には、中干し節水や地区内水源の活用等にご協力を頂き誠にありがとうございました。



### ◇水稲の作柄状況 (8月31日東海農政局公表)

8月15日現在における水稲の作柄状況についての調査結果が公表されました。遅場地帯である岐阜県の水稲の作柄状況は、6月上旬の低温、日照不足や7月中旬及び8月の大雨、日照不足等の影響はあったものの平年並みと見込まれています。普通植えの水稲については長雨による日照不足が心配されます。



早植えの圃場(八百津町・富加町地内)

### ◇8月の気象概況 (岐阜地方気象台発表)

月を通して、前線や低気圧、上空の寒気、台風によって運ばれた湿った空気の影響により、曇りや雨となった日が多くなり、雷を伴い非常に激しい雨となった所がありました。特に17日から18日にかけてと25日は、前線の影響により所々で大雨となりました。過去平均の数値と比較して見ますと、気温は特に変動がなく平年並みで、降水量については依然として増加しており、日照時間については引き続き減少しています。今年は晴れとなった日もありましたが、どんよりとした天候が続きました。

観測地点	気 温 (℃)				降 水 量 (mm)				日照時間 (h)	
	日平均	最 高	最 低	過去の月平均	月 計	日最大	時最大	過去の月平均	月 計	過去の月平均
高 山 市	24.7	36.2	16.5	24.4	252.0	42.0	19.0	197.9	143.3	177.3
大 垣 市	28.3	37.3	20.3	28.1	362.0	84.0	47.0	166.1	139.9	199.9
美濃加茂市	27.5	38.1	19.9	27.5	294.5	52.5	34.0	179.9	144.0	198.8
多治見市	27.4	38.8	19.4	27.7	348.5	53.5	38.5	149.6	155.3	209.4
恵 那 市	25.6	35.9	18.0	25.6	308.0	43.0	25.0	202.2	138.9	199.5

※「過去の月平均」とは、平成3年から令和2年までの30年間の8月の平均値です。

### 水資源機構中部支社に要望書を提出

～木曽川右岸用水施設機能保全について～

木曽川右岸緊急改築事業につきましては、平成21年度からと平成27年度からの2期にわたり事業を実施していただき、お陰をもちまして漏水の発生件数は大幅に減少しました。一方で未改築区間やPC管以外の管種においても漏水事故の発生の恐れがあります。また、揚水機場においては、異常振動が確認されるなど、老朽化に伴う不具合が発生しており、安全運転が危惧されています。連合ではこうした現状を踏まえ、用水の安定供給と安全な施設管理を図る観点から、8月17日に藤井理事長が水資源機構の中部支社を訪問し、桑原支社長に、次の事項について取り組んでいただくよう要望書を提出しました。



#### 【主要要望事項】

- 突発的な事故の懸念高まる揚水機場については、機能保全計画の更新に基づく具体的な対策への取組。
- 未改築区間のPC管及びそれ以外の管種における漏水事故の回避に向けて、機能保全計画の見直し及び対策への取組。
- 幹線導水路等のトンネル背面空洞調査が行われていない区間については、調査手法を確立し適切な対応への取組。